

“ふるさとちば”のための政策推進を



# 木下けいじ県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## ●南房総市・安房郡特集● 9月定例県議会一般質問

安房地域の7町村が合併して誕生した南房総市。その南房総市・安房郡選挙区から、この4月の県議選に出馬し、初当選した木下敬二(きした・けいじ)氏が9月県議会の一般質問に立ちました。旧千倉町議から同町長に転進。行政経験を積んだ上で、県議選へと政治のステージを移した木下県議は、南房総地区の農林水産業の活性化、東京湾アクアラインや館山自動車道など進む広域幹線道路の効果を受け止めるための一般道路整備、ブロードバンドの普及推進、合併浄化槽の整備促進などについて質問しました。その模様を特集します。

# 農山漁村に長期宿泊体験



## 過疎地のブロードバンド整備

### 年内に推進組織

木下 ブロードバンドサービスの格差是正のため、電気通信事業者が自主的に事業展開できるよう、インセンティブを与えることが必要と思うがどうか。  
総務部長 県内のブロードバンド利用環境の整備は、平成19年6月末現在の世帯カバー率がADSL等のサービスで97・7%、光ファイバーを利用した超高速のサービスで85・9%となっています。  
しかし、過疎等の条件不利地域では事業採算性などの理由から整備が進んでいません。  
県では、国、条件不利地域を抱える関係市町、民間事業者等が構成する推進組織を年内に設置し、課題の把握や需要喚起の方法、整備方針などについて、地域特性に応じた関係市町の主体的な取り組みを踏まえながら、整備促進に努めてまいります。  
情報通信基盤の格差是正については、南房総市長および館南町長と相談の上、質問したものであり、推進組織を年内に設置するということなどは、積極的に進めてほしい。

木下 農林水産省など3省は、すべての小学校が農山漁村で長期宿泊体験することを目指す「子ども農山漁村交流プロジェクト」を始めるとの報道があり、南房総、安房郡市では大いに期待をしている。県はどのように受け止めたか。  
教育長 千葉県は広大な緑の大地と三方を囲む海を有し、加えて全国有数の農林水産業県。いも掘りや地引き網など様々な体験や活動ができる。千葉県を訪れる子どもたちに恵まれた自然や千葉の人々の温かさを知ってもらおう機会ともなり、歓迎すべきプロジェクトと受け止めています。  
木下 「県民だより」9月号に、「もっと元気に水産業」と題して、千葉県水産振興方針の一部が県民に広く周知された。これを見て大変心強く感じた1人だ。ただ、4漁協が合併した房州ちくろ漁協を例にとる

## 小学生対象、県も「歓迎」



要望 安房2期地区も早期着工を強く要望する。

と、固定債権約30億円と合併時の債務がそのまま残る大変厳しい状況で、方針では個々の漁協ができる合理化を進めるとあり、先がみえない。  
水産業の振興を具体化するため、どのように取り組むのか。  
知事 銚子つりきんめなど最近認定した千葉ブランドを広げ、できるだけ早く消費者に届ける流通システムの構築や、近隣漁協間での事業統合による経費削減、獲れたての魚の直売事業や地引き網など体験漁業への支援、都市住民が漁村に足を運んでいただくブルーツーリズムを盛んにするための広報活動など、いろいろな対策を講じていきたい。  
木下 広域営農団地農道整備事業安房地区1期の完成予定年度はいつか。  
農林水産部長 20年度の完成を目指している。

## 木下けいじ県議・PROFILE

### 略歴

- 昭和23年 5月 旧千倉町に生まれる
- 昭和42年 3月 県立安房高校卒業
- 昭和46年 3月 日本大学経済学部卒業
- 平成7年 3月 千倉町議選に初当選
- 平成11年 4月 千倉町議会副議長就任
- 平成13年 4月 千倉町長選に出馬、初当選
- 平成18年 3月 市町村合併により千倉町長失職
- 平成19年 4月 県議選に出馬、初当選

### 経歴

- 県議会 議会運営委員会委員
- 県議会 農林水産常任委員会委員
- 自民党県連 政務調査会副会長

県政や南房総市・安房郡のご相談をお寄せください……

〒295-0005 南房総市千倉町牧田164-1

# 木下けいじ 県議事務所

TEL.0470 (44) 4111

FAX.0470 (44) 4112

# 「一般道の整備不十分」と指摘

## 安馬谷バイパスは年度内供用

白子バイパス

### 早期着工を要望

国道410号

南房総市・安房郡特集 / 9月県議会一般質問

地域ととも

木下けいじ 敬 県議

#### 南房総の道路問題



9月定例県議会一般質問で、自席から再質問を行う木下県議

木下 南房総地域は東京湾アクアラインや館山自動車道などの整備により広域幹線道路網との接続が飛躍的に向上、観光振興や地域活性化など大きな整備効果が期待されている。

しかし、高速道路から降りてきた車両を受け入れる一般道路の整備が不十分。国・県道で大型観光バスが

すれ違いできない箇所がいくつもあり、市街地・集落区域内でも十分な歩道が確保されていないなど通行に支障が生じている。

南房総市域における国道410号の整備状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 国道410号の延長42キロのうち約7キロが未整備で、現在、川谷地

先と安馬谷地先で整備を進めています。川谷地先約0.9キロは今年度新規に国庫補助事業として着手。

安馬谷地先約2.4キロのバイパスは今年度末に供用します。

木下 国道410号白子バイパスだが、現道では土日はもとより夏、年末年始の時期、連休時など道路を横断することもできない。最近では小学校の児童1人、老人1人が交通事故で亡くなっている。一刻も早く着工すべきと思うが。

## 県内全域補助対象地域とすべき!!

### 合併浄化槽設置補助



地場産業の育成に全力! 農・漁民と交流、活性化について話しをする木下県議

県土整備部長 南房総市千倉町瀬戸地先から白子地先間約1.8キロ区間に、安全で円滑な交通確保のため、白子バイパスを計画しています。

今後、国道410号の事業中個所の進捗よく状況を勘案し、事業着手できるように検討してまいりたい。

要望 南房総地区の発展に寄与する、館山鴨川道路の早期具体化、国道128号和田バイパス事業推進、県道外野勝山線のバイパス事業推進、県道和田丸山館山線の未整備区間の事業推進を強く要望する。

求内容に基づいて試算すると、17年度補助額のうち補助対象になるのは約2億2千万円、ならないのは約2億1千万円となり、18年度補助金額では補助対象が約1億9千万円、ならないのは約1億8千万円となります。

木下 この制度を再び見直す考えはあるか。また、県内及び南房総市域でも補助対象となる地区と補助対象にならない白浜・千倉・丸山・和田地区など格差が生じているが、県民等しく平等であるべきだが。

環境生活部長 県内に約43万基が残存している単独浄化槽の合併浄化槽への早期転換や閉鎖性水域の富栄養化対策に効果がある高度処理型浄化槽の普及に重点を置き、支援することとしたところです。

木下 平成17、18年度に補助された浄化槽設置の補助金額を平成21年度以降の制度改正に当てはめると、引き続き補助対象となる金額と、ならない金額はそれぞれいくらか。

環境生活部長 市町村の請

この考えで行った、20年度の浄化槽整備事業への市町村要望調査では、昨年度を上回る補助要望が寄せられ、県としてもこの方針に基づき市町村への支援を行ってまいります。

#### 9月県議会自民党代表質問

### 財源不足が拡大、新税源も「検討」

9月定例県議会で最大会派の自民党代表質問に阿井伸也県議(山武郡選出、3期)が立ち、財政、医療、道路、農業、教育問題などを取り上げた。

阿井県議は「200億円にも拡大した財源不足をどうやって解消するのか」と質問。堂本暁子知事は「赤字団体転落への崖っぷちに立っている。県税の滞納整理や未利用県有地の売却などによる歳入確保を進め、あらゆる財源確保策を検討し、経費の節減に一層努めると答弁。新たな税源についても「幅広く検討する」と答えた。

医師確保策では、県独自の制度として私立医学生への修学資金制度や後期臨床研修医への研修資金貸付制度などを創設したが、植田浩副知事は「当該事業で確保できた医師はまだいない」として事業内容を改善する考えを示した。